

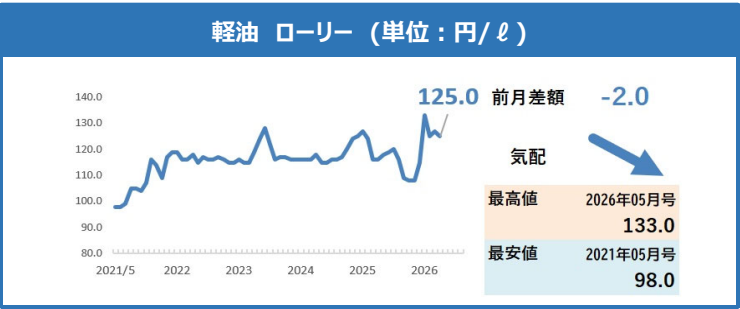
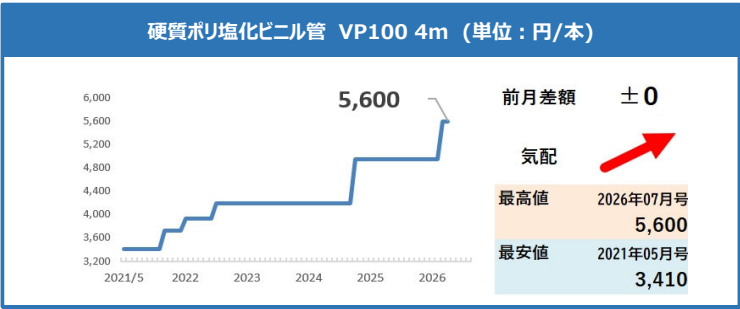
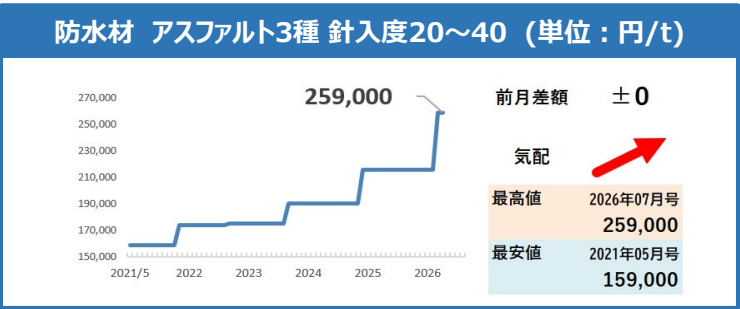
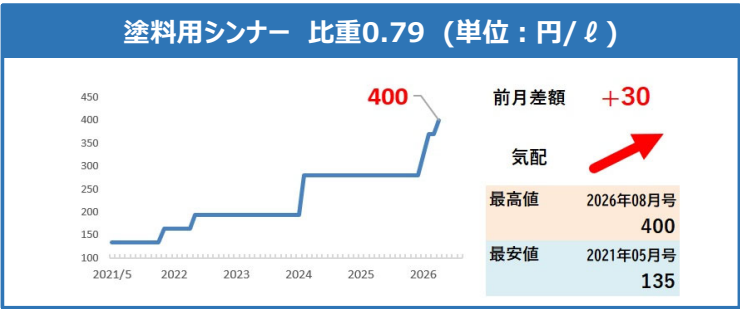
中東情勢緊迫化に伴う建設資材価格・需給動向（調査レポート）

— 中東情勢の影響が懸念される主な建設資材 — ※月刊『建設物価』2026年8月号 東京 ホルムズ海峡の海上輸送リスク・原油価格上昇を背景に、石油系原料依存度の高い資材で影響が顕在化

2026年7月上旬調べ

品名	規格	単位	価格動向			需給動向		原料系統	概況(要点)	掲載ページ
			価格	前月比	気配	現在	見通し			
塗料	鋼構造物用塗料 (変性エポキシ樹脂 下塗り塗料)	kg	1,580	横ばい	強含み	ひっ迫	ひっ迫	ナフサ	値上げ表明を背景に注文が急増し、一部製品で受注停止・出荷調整により納期遅延が発生。取扱店各社は値上げ交渉を継続しながらも、安定的な販売の維持に努めている。	197
塗料用シンナー	比重0.79	ℓ	400	上伸	強基調	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	中東情勢を背景とするナフサ高騰や調達制約で需給はひっ迫していたが、政府の供給拡大の取り組みにより6月中旬頃から流通が増加。主要メーカーの生産継続や受注再開が進み、流通状況は回復の方向に向かっている。	199
防水材	防水工事用 アスファルト3種 針入度20～40 (25kg袋)	t	259,000	横ばい	強含み	ややひっ迫	ややひっ迫	アスファルト	各社の受注再開で当初の混乱は峠を越え、流通は正常化に向かう過渡期にある。一方、5月以降の大幅な価格改定の影響は続き、今後の追加改定の可能性にも留意が必要。	456
シーリング材	変成シリコン系 シーリング2成分形 耐久性9030 JIS A 5758	ℓ	1,310	横ばい	強含み	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	主要各社の受注再開に伴い需給のひっ迫感は一時的に緩和傾向にあるが、完全な正常化には至らず数量制限措置を継続するメーカーも存在している。価格は原材料高を背景に強含みで推移している。	458
建築用断熱材	押出法ポリスチレン フォーム1種bC 30×910×1820	枚	1,680	横ばい	横ばい	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	受注再開の動きで供給面はやや改善したが、出荷制限や品種の絞り込みは一部で継続。価格は中東情勢緊迫化前と比べ大幅に上伸し、当面は高止まりが続く見込み。	516
硬質ポリ塩化ビニル管	VP100 4m	本	5,600	横ばい	強含み	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	ナフサ供給の正常化や代替調達の進展で生産面の制約が改善し、ひっ迫感が緩和の兆し。一方で追加の価格改定が相次ぎ、先行きも強含みで推移する見通し。	688
軽油	ローリー	ℓ	125	下落	弱基調	均衡	均衡	原油(軽油)	備蓄放出や代替調達の拡大で供給懸念は後退し、需給は均衡している。価格面では中東情勢やOPECプラスの動向を背景に原油相場が乱高下し、先行きは注視が必要。	788

◆ 主要品目 価格推移グラフ



【価格】赤字：前月上伸 黒字：前月変わらず 青字：前月下落

【前月差額】2026年8月号(東京)と2026年7月号(東京)を比較

【気配】2026年8月号(東京)時点での価格見通し

【最高値・最安値】2021年5月号以降の最高値と最安値を表示。なお、最高値、最安値の表示月号はその価格を最初に記録した月号を表示